JGAPの認定書を手にする布瀬谷夫妻とJAの佐藤さん（中央）

安全・安心・食味を追求・ナシ農家がJGAP取得

宇都宮の布瀬谷さん夫妻

宇都宮市針ケ谷町、ナシ農家の布瀬谷英紀さん、真琴さん＝共に44歳＝夫妻が運営する英真株式会社が8月、日本GAP協会の農業生産工程管理（JGAP）の認証を取得。「食品安全の確保」など農業の持続性に向けた多くの取り組みをひとつひとつクリアしてきた布瀬谷夫妻は「布瀬谷さんのナシは安全・安心でおいしいといわれるような経営を目指したい」とJGAP取得を、今後の農業経営のステップアップにしていきます。

JGAPは、「より良い農業生産工程管理」を国の認定機関が認めたもので、農薬や肥料などの農業資材の管理、周辺環境などのあらゆるリスクに対しての回避策、農業者への労働環境改善など厳しい基準を満たす取り組みを第三者が認定する制度。

梨専門部の有志23人が今年1月、GAPの栃木県制度版になる「とちぎGAPの第三者確認」を取得しました。このとき、雀宮地区のモデル圃場として、布瀬谷さんのナシ園が選ばれ、現地での勉強会に使用されました。

「とちぎGAPの第三者確認」を取得後、JAの職員らから、「みんなでバックアップするのでJGAP取得を目指そう」との話が出ました。布瀬谷夫妻は「自分たちのスキルアップにもつながる」と快諾しました。英紀さんは「とにかく、整理整頓がすべてだった。JAの担当者の全面的な協力があったので取得できた」と振り返ります。

2・1㌶の圃場で、幸水、豊水、あきづき、にっこりを作っている布瀬谷夫妻は「食品安全・環境保全の徹底や信頼される農場管理など、完全・完璧を目指していきたい。JGAP取得に恥じない仕事をしていく」とさらなる躍進を誓いました。

特集

～令和元年度「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けた取組結果の紹介～

JAうつのみやは「自己改革」を不断なく実践するため、３つの基本方針（令和元年度～令和３年度）を設定しています。

1.「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」へのさらなる挑戦
2.「地域の活性化」への貢献
3. 自己改革の実践を支える経営・財務基盤の強化

今回は、令和元年度『「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」へのさらなる挑戦』の取り組み結果に焦点を当て、紹介します。

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けた取り組み

「農業者所得増大への挑戦」の取り組み全体図

販売単価UP
- 販売方式強化・確立（市場整理,直売,買取等）
- 地域ブランド強化
- JA 間連携（オールとちぎ）
- イベント・宣伝強化

×

農業生産の拡大
- 無料職業紹介事業
- 農家後継者支援
- 集落営農組織・法人化支援
- 新規作物の生産支援
- JA 営農施設・設備の充実

－

生産トータルコスト低減
- コスト対策肥料推進
- 大型・担い手直送規格農薬推進
- 生産資材大口利用奨励
- 生産技術支援

＋

JA支援事業（助成）
- 「営農振興・担い手育成積立金」事業
- 生産拡大支援
- 就農支援

》 **農業者所得増大への挑戦**

ＪＡうつのみやでは「農業者所得増大への挑戦」を達成するため、取組内容を「販売単価ＵＰ」「農業生産の拡大」「生産トータルコスト低減」「ＪＡ支援事業（助成）」の４つのテーマに分け、それぞれ取り組みを強化しています。

ＪＡ支援事業（助成）

「営農振興・担い手育成積立金」の活用による生産者支援

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」の実現に向け、積立金を活用した支援事業により、意欲ある農業者や新規・親元就農者等への直接支援を積極的に進めました。

【令和元年度支援実績】
　総額　約3,000万円　　支援対象者　80名

≪事業内容≫
①親元独立経営支援事業（８４５万円）
②簡易パイプハウス支援事業（２０万円）
③園芸施設導入支援事業（1,411万円）
④梨生産力向上支援事業（１４２万円）
⑤露地野菜生産振興支援事業（４４４万円）
⑥共同乾燥調製施設導入支援事業（１００万円）
⑦水稲高密度播種栽培支援事業（３万円）

【支援効果試算】
上記③④⑤合計（６３名）
作付面積　12．6ｈａ拡大
農家所得　約1億円増加
（一人あたり　平均１６２万円）

「営農振興・担い手育成積立金」制度を活用し新規就農した石渡宣雄さん

JAうつのみや 自己改革の取り組み

販売単価UP

インショップ事業による地産地消拡大

地元量販店へのインショップ事業の強化に取り組み、地産地消の推進と物流面での生産者の労力軽減支援を実施しました。

「オールとちぎ」販売体制の確立

県央3JA（うつのみや、はが野、かみつが）が連携し、トマトフェア（5月）を実施しました。オールとちぎ販促活動「たちつてとちぎフェア」を実施しました。（ヨークベニマル県内30店舗、毎月末）

地元量販店でのインショップ事業

生産トータルコスト低減

生産コストの引き下げ

「予約価格とりまとめ・肥料農薬大口利用者奨励・肥料大口購入割引」による生産コスト低減を実施しました。

【取扱実績】（自己取値引含む）
予約、大口奨励値引額　182,322千円

水稲低コスト技術の研究

水稲高密度播種栽培支援事業により、田植機植付部の交換部品に対し支援しました。
代かき同時播種栽培、半乾田管理栽培の新技術研究を実施しました。

代かき同時播種栽培

農業生産の拡大

「無料職業紹介事業」を開始

農家の高齢化・後継者不足等による労働力不足に対応するため、WEBサイトを活用し、「人手が必要な農家」と「農業のお手伝いをしたい地域住民」を無料でマッチングする事業を開始しました。

【取扱実績】
農家41戸、採用者62名
（求人農家数54戸、求職者184名）
（主な品目＝トマト、梨、苺等）

Webサイトを活用した島田典男さん一家

集荷体制の見直しも・越冬トマトGが全体会議と出荷反省会

3密を避け、間隔をとって会議に参加する生産者ら

南部営農経済センターで行われたトマト専門部越冬トマトグループの令和元年度全体会議と令和2年産出荷反省会

トマト専門部越冬トマトグループは7月30日、令和元年度全体会議と令和2年産出荷反省会を宇都宮市砂田町の南部営農経済センターで開催。越冬トマトグループ生産者や関係者22人が参加し、全体会議では本年度の事業報告と次年度事業計画について話し合いました。集荷体制などの見直しも協議しました。

出荷反省会では、全農担当者から令和2年産のトマト販売経過報告があり、「例年厳しい販売環境が続いているが、本年は新型コロナウイルスの影響で業務関係者の荷動きは鈍かったが、買いだめ需要で量販店の引き合いはあった。次年度は新しい形の販促活動を提案したい」と報告がありました。

またJA総合販売課から令和2年産越冬トマトの販売実績が前年対比で出荷数量98%、販売金額106%だったことが報告されました。「次年度はより一層、全農や市場などの関係者と連携し有利販売につながるようにしたい」としました。

市場関係者は「次年度対策として、JAうつのみや産としての売り場拡大に努める。そのために、販売先からの要望を的確に産地へ伝えるので連携できるように協力をお願いしたい」と話しました。

牛飼養管理について理解醸成を図る　和牛改良専門部会現地検討会

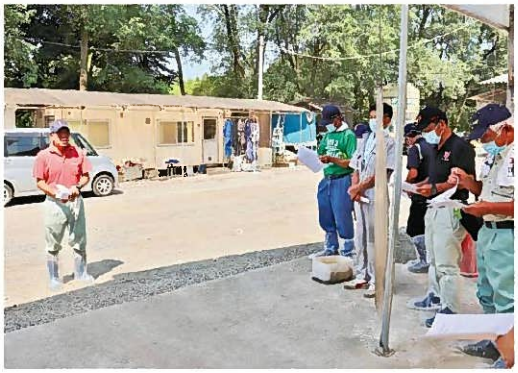
和牛改良専門部会は8月20日に牛飼養管理についての現地検討会を管内の繁殖生産者農場で開催。部会員や県河内農業振興事務所担当者、JA東日本くみあい飼料担当者、JA職員合わせて20人が参加しました。

今回の現地検討会は、県とJAで取り組んでいる四つ星子牛プロジェクトで最も多く四つ星を獲得している生産者、床井和之さんの農場を見学し、飼養管理技術を向上させることを目的に行われました。

検討会では床井さんから農場概要の説明を受けながら農場見学が行われました。農場説明では、母牛と子牛の飼養頭数や使用している飼料、牛舎の設備についてなどを説明し、質問等を交えながら分娩牛舎、哺育牛舎、母牛・育成牛舎の順で見学を行いました。

今回の検討会について鈴木和弘部会長は「床井さんの農場を視察できるせっかくの機会、どのような環境で飼養管理をしているかしっかり勉強していってほしい」と期待を込めました。

牛舎設備について説明する床井和之さん



あいさつする鈴木和弘部会長

スカイベリー「切り離し」作業本番・上小倉の久保井会長

ポットに鉢上げした子株の整理作業

鉢上げした子株の状況を確認しながら作業を進める久保井さん

今秋からのイチゴのスカイベリーの収穫に向け、最初の重要な作業である苗の株分け作業「切り離し」が、産地である上河内地区で7月下旬に本番を迎えました。とちおとめとともに県の主力品種であるスカイベリーは、ＪＡ管内が県内生産量の約3割を占めています。

苺専門部スカベリー研究会の久保井弘道会長＝上小倉町＝は、約30㌃のビニールハウスでスカイベリーを栽培しています。この時季は、親株から伸びたつるから育った子株を分ける作業に追われています。ポットに鉢上げした子株の余分なつるや葉の除去作業も続きます。

久保井さんは「今年は長梅雨で日照不足で生育が心配だが、8月からの管理をしっかりすることで、おいしいスカイベリーを出荷したい」と話しています。

販売金額40億円目指す・JAうつのみや苺専門部が総会

苺専門部は7月31日、令和元年度苺専門部通常総会を書面で行いました。コロナウイルスの感染拡大に伴い、書面での実施になり、事業計画で販売金額40億円を目指すことを決めました。

昨年11月に行われたスカイベリーの出荷目ぞろえ会

令和元年度事業では「定植時期から出荷開始期の台風や曇天の影響により、年内の出荷量は伸び悩んだが、部員各位の努力により、例年並みの販売金額を残すことができた。栃木いちごＧＡＰの取り組みにより、食の安心安全への意識をさらに強化した年だった」と報告しました。

令和2年度事業計画は①組織の強化②生産事業の推進③販売事業の推進を決めた。

令和2年産の販売実績は、出荷量２９９７トン、販売金額35億8千万円でした。令和3年産の目標は、出荷量３２７９トン、販売金額40億円に設定しました。

役員改選で専門部長に上村正明さん(河内支部)が就任しました。

令和2年産苺立毛共進会入賞者を報告しました。入賞者は次の通りです。

▽最優秀賞（栃木県知事賞）　上野裕治（上三川）▽優秀賞（栃木県農政部長賞）　磯誠（河内）▽優秀賞（栃木県河内農業振興事務所長賞）　福田敏克（宇都宮）▽優良賞（全農栃木県本部運営員会会長賞）　三浦智子（宇都宮）▽優良賞（宇都宮農協組合長賞）　小島利昭（上三川）

県庁昭和館前に設置された「いちご記念碑」

あいさつする高橋会長

生産量日本一50年記念式典（8月21日）

県庁に「いちご記念碑」

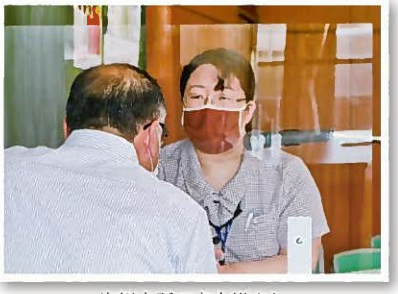
JA全農とちぎ、栃木いちご消費宣伝事業委員会は8月21日、宇都宮市の栃木県庁昭和館前で「いちご生産量日本一50年記念式典」を行いました。福田富一知事、JA全農とちぎ運営委員会の髙橋武会長、県関係者ら約40人が参加し、「いちご記念碑」を除幕しました。

最優秀賞の福田さん

令和２年度スマイルサポーター共済ロールプレイング大会（8月29日・本所）

福田邦尚さんが最優秀賞

上三川支所の福田邦尚さん


姿川支所の森志織さん

姿川支所の白瀬美由紀さん

清原支所の鱒渕康人さん

豊郷支所の荒井れいさん

組合員の皆さまからの地域の話題や活動報告をお待ちしております。写真を添えてお送りください。
※紙面の都合上、掲載されない場合もありますのでご了承願います。詳しくは総務課組合員広報係まで。

営農情報

麦

基本技術の励行

実需の求めている麦の品質とするには、土づくり・排水対策・適正施肥・適期播種・病害虫防除・適期収穫などの基本技術を積み重ねることが重要です。（令和２年産の蛋白含量分析結果や、表１を参考に適期播種・適正施肥に取り組みましょう。）

排水対策の徹底

麦は湿害に弱く、すべての生育期間で湿害を受けやすい作物です。最近は、地球温暖化の影響で、雨が激しく降る傾向が強く、降水量が多くなっています。排水対策として①地表排水（排水溝設置）②浸透排水（心土破砕）③畝立て同時播種栽培を行いましょう。排水溝（明きょ）は排水口と確実につながっているか、確認しましょう。

適期播種

適正な播種時期の目安は、年内に葉齢３葉程度を確保し、根張りを十分にさせると同時に、目標穂数の８割以上の茎数を形成する時期です。

県央部（宇都宮）で年内に３～４.５葉を確保するための積算温度は３００～４００℃なので（図１）、播種は11月６日～15日が適期になります。

適期より播種が遅れると①凍上害や倒伏が発生しやすい②分げつが少ない③生育が遅れ、登熟日数が短くなり、整粒歩合が低くなる④蛋白質含有率・硝子質率が増加する⑤赤かび病や穂発芽の危険が増加するなど、品質や収量に影響が出やすくなります。

種子消毒

近年、大麦斑葉病やなまぐさ黒穂病の発生が見られます。種子伝染性病害を防除し、高品質麦を安定生産するために、種子消毒を行いましょう。

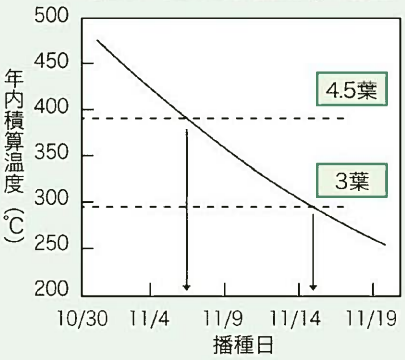
播種量と施肥量の基準

品　種　名	播種量(ドリル播)	施肥基準（窒素成分）
ニューサチホゴールデン	8.5kg／10a	6.5～8.0kg／10a
さとのそら	7～8kg／10a	10～11kg／10ａ
ゆめかおり	7～8kg／10a	12kg／10ａ (ゆめ専用肥料60kg／10ａ) 追肥：２～４kg／10ａ

表1

図1　【播種日と年内積算温度との関係】

（1997～2009年／観測地：宇都宮）



大豆

大豆の収穫は、早すぎると刈り取り時に茎汁等による汚損粒や破砕粒が発生し、遅れると自然裂莢による収穫ロスや割れ粒・亀甲じわ粒が多くなり、加えて連続した雨に遭うと腐敗粒が多くなり品質が低下します。

品質の低下を防ぐためには、収穫適期になったら、素早く収穫することが重要で、そのための環境を事前に整えましょう。

排水溝の点検

収穫前には圃場の排水溝を点検し、不意の大雨があっても速やかに排水ができるようにしておきましょう。降雨による作業の遅れは、麦の播種の遅れにもつながるので、排水溝を点検補修し、降雨による作業の遅れを最小限に抑えましょう。

青立ち株・大型雑草の除去

収穫前には必ず青立ち株や大型雑草を除去し汚損粒の発生を防止しましょう。

適期に収穫を

コンバインによる収穫は、汚損粒の発生を防ぐため茎水分が40％以下、破砕粒発生を防ぐため子実水分18％以下になってから行います。表２を参考に適期を判断しましょう。降雨があった時は１～２日待って判断します。

刈り取りは茎や莢の表面が乾いている晴天の10～16時頃に行うようにし、刈り取りの高さは10㎝以上、刈り残しが出ない程度でなるべく高く刈りましょう。その時には必ず10ｍ程度試し刈りを行い、品質をチェックしましょう。

○茎水分の目安
70％ 緑色が残る
60％ 莢と同じ褐色
40％ ほとんどの茎が黒変開始し、
　　剥皮率が30％程度
　　手で折ると軽くパキッと折れる
○子実水分の目安
20％ 噛むと音がせずに割れる
18％ 爪を立てると少しあとが残る
15％ 噛むとパリッと割れる
○剥皮率（30％程度）
　皮の剥げる長さ÷主茎長×100

表2

女性組織から
Newsletter
ニュースレター

出来上がった作品と一緒に

どんな絵柄にしようかしら

「どんな感じ？」「素敵な色ね」

昨年の活動を振り返って みどり会国本支部

みどり会国本支部（大音悦子支部長）は、「今年度は新型コロナウイルスの影響で、まだ活動を行うことが出来ていないため、昨年度の活動を振り返りたいと思います」

7月下旬に、螺良朋子さんを講師に迎えて「絵手紙教室」を開催しました。あらかじめ、うちわにプリントされた花や野菜の絵に、思い思いの色をのせて楽しみました。

ゴキブリ団子作り講座を開催しました / みどり会河内支部

ゴキブリ団子、よく捏ねて混ぜて上手に出来ました

相沢令子支部長のコメント

新型コロナウイルス感染症の影響で、活動のほとんどが延期・中止になり、皆が不安を抱える中、今年度の活動は今のところ休止状態です。

昨年度の活動としては、新たまねぎの時期にゴキブリ団子を作り、年2回のほほえみサロンの開催、産業祭への参加。手芸教室・料理教室を行い集会も多く開催しておりました。

コロナ終息に至った時には、会えなかったメンバーとの絆を強め、活動の再開が出来る日を待ち望んでいます。

知って納得！
資産管理講座

税理士　河内（こうち）　太邦（たかくに）

家屋の固定資産税について

Q 自宅建物の固定資産税についてのご相談です。昭和30年頃に建てた木造の自宅建物の固定資産税について、百数十万円の固定資産税評価額がついています。私の感覚では、築65年の木造なので、価値はゼロだと思うのですが、どのような評価の方法になっているのでしょうか？

A 家屋の固定資産税評価額は「再建築価格法」という手法によって計算されています。つまり、いま現在、まったく同じ家屋を建築した場合に、必要となる建築費を計算し、その建築費を基にして築年数の経過による価値の減少を補正して評価額が決められます。この評価額は３年ごとに見直しされます。

家屋の価値は新築時がいちばん高く、年数が経てばどんどん古くなって価値が下がっていくと考えるのが自然ですが、固定資産税評価額はこのように現在の建築費を基に計算しているため、昨今の建築資材の高騰など建築費がたくさんかかるような状況になれば、固定資産税評価額も上昇することになります。

では、固定資産税が建築当時より高くなってしまうことがあるのかとも思うこともあるかもしれませんが、家屋の固定資産税評価額は３年ごとの見直しの際、評価額が上がってしまうような場合には、評価額を見直し前の価格に据え置くという決まりになっています。そのため建築費がどんなに高騰しても前年の評価額を上回ることはありません。税負担が少なくなることはあっても、多くなることはないという仕組みになっています。

なお、家屋の固定資産税評価額はどれだけ築年数を経過したとしても、評価額の20%は残存価格として残るようになっています。ご質問のケースは、木造家屋の耐用年数をはるかに超えていますが、評価額の20%のみ残っており、３年ごとの見直しでも評価額が据え置かれて、毎年同じ額の固定資産税評価額になっている事例だと思われます。

法律税務相談日

10月20日（火）

無料ですが予約が必要です。

最寄りの支所へお申し込みください。相談時間は午後1時から先着受付順です。資産管理や土地有効活用などもお気軽にご相談ください。

健康百科（けんこう　ひゃっか）

上都賀総合病院
薬剤師
髙橋（たかはし）　詩織（しおり）

妊婦さん・授乳婦さんに知っておいてほしいこと

妊婦さんや授乳婦さんが薬を使用する場合、胎盤や授乳を経て薬を必要としない胎児・乳児にも薬に暴露されることがあります。胎児・乳児にとっては薬のリスクを負うことになるため、注意が求められることがあります。

過去にサリドマイドという薬は、睡眠薬や妊娠のつわりを緩和する薬として妊婦さんにも多用されました。動物実験で催奇形性は認められなかったのですが、ヒトでは四肢をはじめとした奇形がもたらされ、被害を受けた方が多数いらっしゃいました。これがサリドマイド事件です。これ以降、薬の安全が強化されました。

妊娠中、授乳中の薬の服用について、いろいろと心配になる方がいらっしゃいます。習慣的に飲んでいる薬をやめることができる場合と、もともとある病気を薬でコントロールして母児ともに健康な状態で出産に臨む場合があります。また、お薬は母乳中に移行しますが、その量は非常に少ないことがわかっています。実際に授乳を止めなければならない薬剤は少なく、母乳育児を継続した方が薬のリスクを大きく上回ることが多いことも事実です。つまり、妊婦さん、授乳婦さんが薬を使用する場合、薬剤ごとに良いことと悪いことを評価して、その必要性を慎重に判断し使用していくことになります。

催奇形性や胎児への毒性が分かっている薬は複数種類あります。また全ての薬について安全性の評価が十分にわかっているわけではないというのが実情です。そのため日本では、最新の研究成果を収集・評価するために「妊娠と薬情報センター」が設置されています。その情報をもとに私たち薬剤師は産婦人科医、小児科医、主治医とともに妊婦さん・授乳婦さんの安全な薬物治療に関わることを行っています。「お薬を飲むかどうか」を悩まれたときには、お薬のことだけではなく、お母さんの病気も考えなくてはなりません。不安な点があったり、悩まれた場合にはお気軽にご相談ください。

アグリジャンプ 2020年10月号 No.271

清原支所だより

各支所の活動や地域の情報をお届けします！

飛山城跡

清原支所の西側に飛山城跡があります。飛山城は鎌倉時代後期にあたる永仁年間（1293年ー1298年）頃、宇都宮氏の家臣・芳賀高俊によって築かれ、天正18年（1590年）、豊臣秀吉の「いらざる城は破却せよ」との命令により、飛山城も「城破り」の対象として廃城になったと考えられます。

飛山城跡は1977年（昭和52年）に国の史跡に指定され、2005年（平成17年）3月に飛山城史跡公園が開園しました。公園内には、土塁や堀、木橋、兵士の詰所を復元した掘立柱建物が見られます。また、公園に隣接して「とびやま歴史体験館」が開設され、城や城主芳賀氏に関する史料などが展示されているほか、勾玉・土器などの作成体験、昔の遊び（竹とんぼ、けん玉など）の体験ができます。

中世掘立柱建物

中世竪穴建物

栃木県グリーンスタジアム

清原支所の東隣には全国大会規模のスペックを持つスポーツ施設、宇都宮清原球場と宇都宮市清原体育館があります。そして栃木県内初の本格的球技専用スタジアムとして栃木県グリーンスタジアムが1993年に開場しました。

グリーンスタジアムは日本プロサッカーリーグに加盟する栃木SC（現在J2）がホームスタジアムとして使用しており、Jリーグ公式戦をはじめ高校選手権など多くの熱い戦いが繰り広げられております。また、栃木SCのJリーグ参入前にはJ1の公式戦も開催していました。皆さんも栃木のプロスポーツを肌で感じてみませんか。

敷地面積約9万3千㎡もある
巨大なスタジアムです

【編集・発行】JAうつのみや　〒320-0031 宇都宮市戸祭元町3-10
総務課組合員広報係　TEL028(625)3380　FAX028(627)3307
E-mail soumuka@jau.or.jp
JAうつのみや　検索

支所・センター電話番号

中央支所	028-633-3467	南河内支所	0285-48-2211
宝木出張所	028-622-6111	上三川支所	0285-55-1510
平石支所	028-661-4311	宇都宮北部営農経済センター	028-665-0550
南部支所	028-656-1020	宇都宮西部営農経済センター	028-658-6565
城山支所	028-652-0711	宇都宮南部営農経済センター	028-656-8484
北部支所	028-665-0003	宇都宮東部営農経済センター	028-660-3535
豊郷支所	028-624-8011	上河内営農経済センター	028-674-2164
清原支所	028-667-0151	河内営農経済センター	028-673-6911
姿川支所	028-658-6881	南河内営農経済センター	0285-48-2215
上河内支所	028-674-3333	上三川営農経済センター	0285-55-1511
河内支所	028-673-3135		

各種お問い合わせはこちらへ

キャッシュカードの紛失・盗難
フリーダイヤル0120−082065

夜間・土・日・祝祭日の自動車事故（24時間受付）
事故受付センター フリーダイヤル0120−258931

JA葬祭（24時間受付）
アトラス宇都宮ホール　028−660−5555
アトラスファミリーホール鶴田　028−633−9200
アトラス上三川ホール　0285−55−1555

LPガス関係　灯油・軽油・A重油の配送
フリーコール　0800−700−0085（通話無料）
※緊急連絡先028−633−0085